

パートナーシップ・ナーシング・システム

青森市民病院では、安心・安全で質の高い看護を提供するために、PNSを導入しています。

PNSとは……

PNSとは、看護師2人がパートナーとなり、看護業務を一緒に実践し、看護師個々をパートナーやチームメンバーで支援し協力し合い患者さんに必要な看護ケアを効果的に提供する看護体制です。個々が対等な立場で互いの個性を活かすパートナーシップ(協働・連携)が基盤となります。



2人(ペア)での看護ケア実践！
相談しあってケアをするから安心！

PNSは、従来看護師が1人で行ってきた看護業務を、パートナーと二人三脚で行います。お互いが支援し協力し合い看護ケアを行うことで、安心・安全な看護の提供につながります。新人看護師にとっては、先輩看護師と一緒に患者さんへのケアを実践できるので、その場で指導を受ける、先輩看護師の患者さんやご家族への対応を学ぶ機会となります。

PNS新人教育システム

1)新採用者フレッシュパートナーとしての流れ



第1段階:シャドー

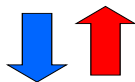


入職3~5日目

先輩Nsペア+新人Ns:見学+看護体験

定義:ペアを組む先輩Nsの動きに影のようについていく
目的:先輩Nsペアの動きや日勤業務の流れ・看護技術を学ぶ

第2段階:トリオ



先輩Ns+新人・先輩Ns:補完

定義:3人でパートナーを組みPNSで看護ケアを行う
目的:先輩の支援・指導を受けながらペア体験しPNSによる看護業務と補完を学ぶ

第3段階:ペア

先輩Ns+新人Ns

定義:先輩Nsとペアを組みパートナーとしてPNSで看護ケアを提供する
目的:シャドー、トリオと実践を重ね、最終的にペアを組んで看護ケアの習熟を図る

ペアリングの1日 4階東(小児科)病棟:ペアリングで業務している様子



情報収集

・電子カルテで受け持ち患者さんの状態を確認し、1日のスケジュールを立てます。



検温・処置・点滴交換・保清

・ペアで検温や点滴交換を行います。1人が測定と状態観察を行い、もう1人が電子カルテに入力します。



・先輩のケアをお手本にして、患者さんとのコミュニケーションや観察のポイントを学ぶことができます。